

公益社団法人 日本農芸化学会関東支部 2018年度第2回 企業イベント

(報告者: 岡田 敦)

日本農芸化学会関東支部2018年度企業イベントパート2～企業研究員からのメッセージ～が、2019年2月9日(土)に東京家政大学にて開催されました。

本イベントは、将来のキャリアとして企業への就職を考える院生・学部生に対して、企業の第一線で活躍中の方々から仕事に対する姿勢や考え方、キャリアパス等、実際働かれている方々の生の声をお伝えする事で、企業に就職する意義とイメージを確かなものにしていただく事を目的として開催しています。本年度の企業イベントパート2では、日本農薬、サントリー-MONOZUKURIエキスパート、佐藤製薬、高砂香料、ADEKA、AGCの6社よりご賛同を頂き、応募してくれた学生さんが参加してくれました。

当日の講師と演題

1. 蓮子 雅之 氏 (日本農薬 株式会社)
研究体制の概要 ～私の入社してから～
2. 指宿 大悟 氏 (サントリー-MONOZUKURIエキスパート 株式会社)
おいしさの品質保証 ～オフフレーバーの分析技術開発～
3. 山野 美怜 氏 (佐藤製薬 株式会社)
佐藤製薬における化粧品の研究開発
4. 鈴木 隆 氏 (高砂香料工業 株式会社)
創業百年へー 高砂香料創業者甲斐莊楠香の足跡
5. 阿部 一勝 氏 (株式会社 ADEKA)
ADEKAの研究開発
6. 笠川 貢 氏 (AGC 株式会社)
AGCの研究開発

講演の部では各企業の方々を講演者として招き、簡単な会社紹介に続いて、取り組んでいる研究の説明や学生時代の研究や企業に就職した経緯やキャリアパスなどを分かりやすくお話していただきました。最初こそ緊張した面持ちで講演に耳を傾けていた学生さんたちでしたが、会場の和やかな雰囲気すぐに肩がほぐれたようで、会社の強みや業界全体の特徴、また取り扱う商品の安全性や印象など、幅広い内容について積極的に質問してくれました。



JSBBA KANTO

続いて講演者の皆様をコメンテーターとしたパネルディスカッションを行いました。普通の企業説明会では聞けない事まで質問できるのが本イベントのいいところです。学生さんから会社の弱点やこれからのキャリアパスのイメージ等、より踏み込んだ質問が飛び出しました。



その後、食堂に移動して講演者と学生の垣根を取り払って自由に交流していただく場を設けました。講演者と直に会話できる絶好の機会とあって、講演者をたくさんの学生さんがメモを片手に取り囲んで積極的に質問し、自由闊達に意見交換する様子が見られました。



本イベントを通じて参加した学生からは、

- ・研究者でも企業の中の様々な分野で活躍できる事が分かった。
- ・社会人として働くことが少し身近に感じられた。
- ・研究、就職どの道に進むにせよ、自分が研究を続けてきた価値をちゃんと打ち出すことが出来ると感じた、などの感想を頂きました。

また、講演者の方々からは、

- ・たくさん質問してくれてうれしかった。
- ・学生のエネルギーがすごく刺激になった。
- ・また参加して学生さんと交流したい、等のお言葉を頂きました。

当日は関東一円を寒波が襲い降雪のため交通機関に乱れが生じ、講演者の方々、参加してくれた学生さんには不便な思いをおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで大盛況のうちに本イベントを開催する事ができました。幹事一同厚く御礼申し上げます。本イベントが皆さんの今後の研究や就職に対するモチベーションに繋がってくれることを願っています。